

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **770** December 2022

Special Issue : Unemployment Relief Programs in Postwar Japan: An Historical Reevaluation of the Programs and Workers Covered by Them

- Introduction to the Special Issue ENOKI Kazue
 Postwar Unemployment Countermeasures, Labor and Buraku Problem
 SUGIMOTO Hiroyuki
 On the Project of Combating Intellectual Class Unemployment in Postwar Tokyo
MACHIDA Yuichi
 Unemployment Relief Program in the 1950s HiroshimaNISHII Marina

Archivists' Report

- Rehousing of OUCHI Hyoe Materials.....NAKAMURA Mika

Book Reviews

- ITANI Satoko, *The Politics of Sporting Female Masculinity: Body, Gender, Sexualities*
 AIBA Keiko
 CHENG An-chun, *Foreign Care Workers in Taiwan: The Choices and Challenges of
 Employers, Intermediary Agents, and Employees*.....TAKAHATA Sachi
 IWATSUKI Shinya, *Teachers Compensation Systems and Industrial Relations: A Comparative
 Study on Transaction of Labor Force between Japan and the United States*.....ENDO Koshi
 NISHIOKA Susumu, *Restructuring the Japanese Welfare State: Discursive Politics,
 Bureaucratic Policymaking, and the Family Policy* IWAMOTO Misako
 NISHINARITA Yutaka, *Industrialization of Modern Japan and Change of People's
 Consciousness*..... TAKEDA Haruhito
 UTSUMI Aiko (Edit/Explanation), *Murai Unoko's Travel to Korea and Qing (April
 14th-June 16th, 1906) : An Observation of East Asia in the Aftermath of
 the Russo-Japanese War*KAWATA Kyoko

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting FUKAWA Hisashi

The Institute's Activities in August 2022

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site: <https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
 法政大学大原社会問題研究所

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

770 2022.12

【特集】戦後失業対策事業・失対労働者の史的再検討

- 特集にあたって 榎 一江 1
 戦後失業対策事業・失対労働者と部落問題 杉本弘幸 2
 戦後東京の知識層失業対策事業 町田祐一 18
 戦後広島 of 失業対策事業 西井麻里奈 33

■資料紹介

- 大内兵衛資料のリハウジング 中村美香 47

■書評と紹介

- 井谷聡子著『〈体育会系女子〉のポリティクス』 合場敬子 56
 鄭安君著『台湾の外国人介護労働者』 高畑 幸 59
 岩月真也著『教員の報酬制度と労使関係』 遠藤公嗣 63
 西岡晋著『日本型福祉国家再編の言説政治と官僚制』 岩本美砂子 67
 西成田豊著『日本の近代化と民衆意識の変容』 武田晴人 72
 内海愛子編／解説『村井宇野子の朝鮮・清国紀行』 川田恭子 77

社会・労働関係文献月録 80

月例研究会 布川日佐史 84

所 報 2022年8月 85

発 行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と
課題がわかる貴重なデータブック

最新2022年版 第92集

日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点
 <特集> プラットフォーム労働の実態と課題
 —法的問題を中心に

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

<付録> 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計 / 年表

本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。

2022年版
日本労働年鑑

第92集

法政大学
大原社会問題研究所



旬報社

16,500円(税込)
A5判・上製・536頁

ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦
します

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F
 電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

日本労働研究雑誌

No.747 2022年10月号 定価 937円(本体852円) 年間購読 11,244円(税込)

特集「労使関係における集団の意義」

- 提言 労働組合運動再構築への視座 新川 敏光
- 論文 日本的雇用慣行における集団——労使関係と賃上げを中心に 呉 学 殊
- 労働法における集団の意義・再考——労働者代表による労働条件決定をめぐる法的課題 桑村裕美子
- 「男女平等参画」から「クミジョ」へ——労働組合における女性の代表性の現状と課題 本田 一成
- 労使交渉におけるフォーマルとインフォーマル 青木 宏之
- 経営側から見た「集団」の意義 田中 恒行
- 社会政策の形成と労働者集団の役割
- 戦後日本の労働組合による最低賃金制運動を中心に 兵頭 淳史
- 「新しい働き方」における集団の意義——韓国20年間の軌跡からの示唆 安 周 永
- 研究ノート(投稿) 戦略コンピテンシーと人材コンピテンシーが人事担当者の職務満足に及ぼす影響 厨子 直之, 井川 浩輔
- 交互作用効果に着目して 弘中 章
- 書評 早津裕貴 著『公務員の法的地位に関する日独比較法研究』 園田 薫
- 鈴木伸子 著『日本企業に入社した外国人社員の葛藤』 麓 仁美
- 読書ノート 玄田有史・萩原牧子 編『仕事から見た「2020年」』 小野 善生
- 石川淳 著『リーダーシップの理論』
- 論文Today エリート大学に行くことは本当に将来的に有利なのか? 宮 昊君
- キャリアと家族形成の成果に与える影響から 石瀬 寛和
- フィールド・アイ 物価上昇と2つの均衡(ロサンゼルスから③)

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 ☎ 03-5903-6255

労働の科学

Digest of Science of Labour

2022年10月号
77巻10号

10

定価 1,200 円(税込)
年間購読 13,000 円(税込)

【特集】「働き方の未来を50人が読む」第2回調査報告

- 「働き方の未来を50人が読む」プロジェクトチーム
 浜野潤(代表)、石井賢治、北島洋樹、酒井一博、
 坂本恒夫、佐野友美、福島章、松田文子、余村朋樹
- ◆凡夫の安全衛生記・68 「さまざまな組織・立場で⑥」臨床検査の世界で……………福成雄三
 - ◆ILOインド・南アジアこぼればなし・18 ……川上 剛
 - ◆「#教師のバトン」で伝わる教職員の過酷な勤務環境・17 ……藤川伸治
 - ◆労働アーカイブを読む・81 ……岸田孝弥
 - ◆つれづれなるままに ……千葉百子
 - ◆巻頭言 ……福成雄三
 - ◆漂流者たち—クミジョの肖像・19 ……本田一成
 - ◆芸能従事者の今・15 ……森崎めぐみ



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12 桜美林大学内3階 公益財団法人 大原記念労働科学研究所
 TEL: 03-6447-1435 FAX: 03-6447-1436 HP: http://www.isl.or.jp/